

部品交換要領書

浴室DX ドア用 レバーハンドル(錠ケース付)

HHW26-010
2014年7月発行



作業の前に必ずお読みください

部品交換・調整についてはお客様ご自身の責任のもと行ってください。
部品交換・調整に伴う事故や破損については、弊社は一切の責任を負いかねます。
部品交換・調整手順が不明の場合は、パーツセンターホクセイまでお問い合わせください ☎ 077-621-0821

作業にあたって

部品を正しく交換していただくために、本説明書の内容をご理解いただき作業を行ってください。
部品取り付け用ねじ・ボルトなどは最後まで正しくしめつけてください。(不具合の原因となりますので、電動工具は使用しないでください。)
安全のため、安全上の注意事項にしたがって作業を行ってください。

安全上の注意事項

お願い

取りはずしや仮置きの際、傷をつけないよう養生などを行って作業をしてください。
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でケガをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

同梱されているもの

レバーハンドル	取付ねじ	交換要領書
 HH-J-0445 レバーハンドル：1式	 錠ケース取り付け用：2本  長座取り付け用：2本  ハンドル取り付け用：2本	本書 1枚

作業のために準備していただくもの

プラスドライバー
  1本

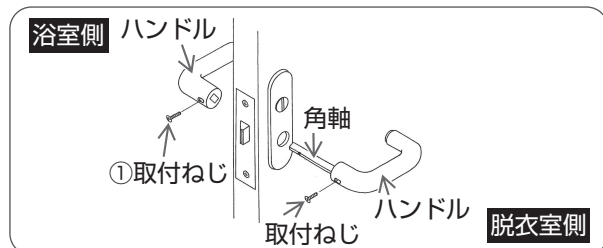
※部品が全てそろっていることを確認してください。

部品の取りはずし方

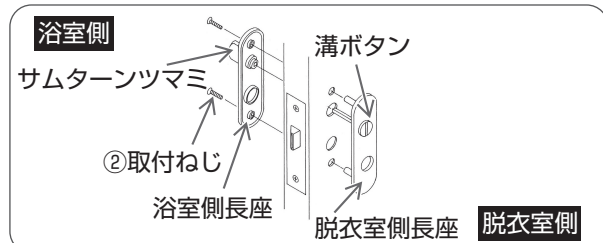
お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でケガをする恐れがあります。
軍手などの保護具を着用して作業をおこなってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

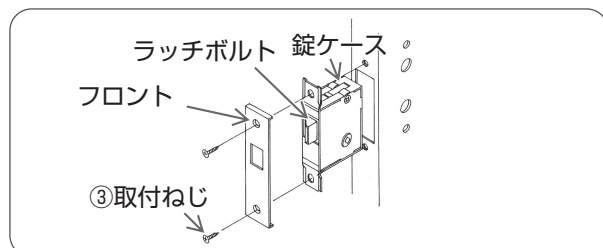
1 レバーハンドルの取りはずし



①浴室側よりプラスドライバーでハンドル取付ねじをはずしハンドルをはずす。



②浴室側よりプラスドライバーで長座取付ねじをはずし長座をはずす。



③プラスドライバーで錠ケースをとめている取付ねじをはずし錠ケースをはずす。

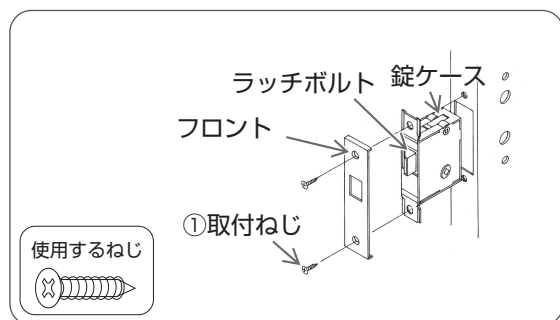
※部品の取り付け方は2ページをご覧ください。

部品の取り付け方

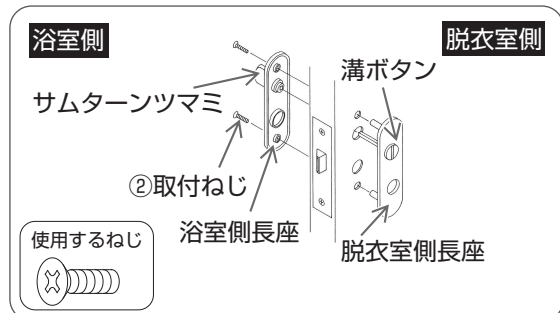
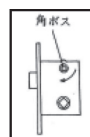
お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でケガをする恐れがあります。
軍手などの保護具を着用して作業をおこなってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

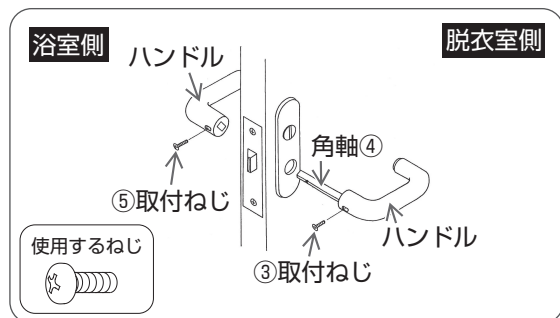
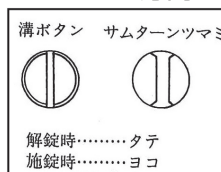
1 レバーハンドルの取り付け



- ①錠ケースにフロントを取り付けて、プラスドライバーで取付ねじをしめる。
※ドアの勝手に合わせラッチボルトを回転させ、正しい向きにしてから取り付けてください。
※ケースの角ボスをフロント方向に回し解錠状態にしておいてください。



- ②脱衣室側長座を取付穴に差し込み、浴室側から浴室側長座を合わせプラスドライバーで取付ねじを仮止めする。
※脱衣室側長座の溝ボタンの溝と浴室側長座のサムターンツマミの方向を合わせて取り付けてください。



- ③一方のハンドルに角軸を差し込みプラスドライバーで取付ねじをしめる。
- ④角軸を取り付けたハンドルをケース角穴に合わせて差し込む。
- ⑤反対側からもう一方のハンドルを角軸に差し込みプラスドライバーで取付ねじをしめる。
- ⑥ハンドル及び溝ボタン、サムターンツマミを数回作動させ動きの良いところで②の浴室側長座の取付ねじをプラスドライバーを使って強くしめる。

部品の交換後のチェック

お願い

交換した部品がしっかりと取付いていることを確認してください。



- ①部品にガタつきがないことを確認してください。
- ②取付ねじの締めつけすぎで部品が変形していないことを確認してください。
- ③ハンドルをまわしてドアを開閉し、開閉に支障がないことを確認してください。サムターンを左右に動かし、施解錠ができることを確認してください。
- ④取付ねじを強くしめると、施解錠が固くなる場合がありますので、その場合は取付ねじの締めつけを調整してください。

※部品の取りはずし方は1ページをご覧ください。